

2023 年度第 3 回支部集会【中国支部】

主催：公益社団法人日本語教育学会
共催：(公財)ひろしま国際センター 後援：広島県

日時：2024 年 2 月 3 日(土)10:00～16:50 (受付開始 9:30)

本催しの[ポスター](#)はこちらからご覧ください。

会場：ひろしま国際プラザ (〒739-0046 東広島市鏡山3-3-1 広島中央サイエンスパーク内)

交通アクセス：JR西条駅(西条駅前バス乗り場 ⑥番乗り場)から無料シャトルバスで

「ひろしま国際プラザ」下車 <https://hiroshima-hip.or.jp/access.html>

無料駐車場がありますので自家用車での来場も可能です。

参加費：500 円(マイページより事前参加登録時に支払い)

定員：60 名

対象：日本語教育に関心のある方ならどなたでもご参加いただけます。

申込締切：2024 年 1 月 25 日(木)23:59

(定員に達した場合は、締切日以前に締め切ります。会場に余裕があれば当日参加も受け付けます。
詳細は、本学会ウェブサイト【参加申込】2023年度第3回支部集会(中国支部)をご確認ください。)

申込方法：[日本語教育学会マイページ](#) から事前参加登録をお願いいたします。

問合せ先：公益社団法人日本語教育学会 支部活動委員会

E-mail: shibu@nkg.or.jp

TEL: 03-3262-4291 (平日 9～18 時のみ)

◆支部集会日程◆

9:30	受付開始	【1 階ロビー】
10:00-10:05	開会挨拶	【3階306研修室】
10:05-11:35	交流ひろば(1)(3 件)	【3階303研修室, 304研修室】
11:35-13:05	交流ひろば(2)(3 件)	【3階303研修室, 304研修室】
13:05-14:05	休憩	
14:05-14:10	開催会場挨拶	【3階306研修室】
14:10-14:40	口頭発表(1件)	【3階306研修室】
14:50-16:40	パネルセッション	【3階306研修室】
16:40-16:50	閉会	【3階306研修室】

開会挨拶

【10:00-10:05 / 3階306研修室】

交流ひろば(1)

【10:05-11:35／3階303研修室, 304研修室】

※「交流ひろば」は、日本語教育とその関連領域の話題についての参加者相互の情報共有および同じ興味や問題意識を持つ者同士のネットワーク作りを目的としています。審査を経た学会発表ではありません。「交流ひろば」への出展は、学会員・非会員に限らずどなたでも可能です。

① 日本語教育に関わるサービス・ラーニングの取り組み: 【303研修室 前】

新教材『ひらく』で開かれる日本語教育

栗山恵子(熊本大学)

2021年秋学期より米国インディアナ州で日本語サービス・ラーニング(SL)コースを開発・実践してきました。現在開発中の教材『ひらく』を紹介し、体験版をお試し頂き日本語教育におけるSLの可能性について意見交換できればと思っています。地域社会に貢献しながら学ぶ外国語教育に興味のある方々ぜひご参加ください。

② 日本語学習教材における合成音声の実用性 【303研修室 後】

—「やさしい日本語でまなぶ介護専門用語集」の実例を基に—

中川健司(横浜国立大学)

出展者の研究グループは、外国人介護従事者向けの教材開発を行っています。今回合成音声作成ソフトを用いて、ウェブサイト「やさしい日本語でまなぶ介護専門用語集」に音声コンテンツを追加する試みを行いました。当日は、日本語学習教材における合成音声の実用性や活用の可能性について意見交換を行いたいと思っています。興味のある方はぜひお越しください。

③ 日本語発音練習サイト「日本語発音ラボ(JPラボ)」の活用法 【304研修室】

—地域のボランティア教師を対象に—

柳澤絵美(明治大学)・ビョン・ヒギョン(国際教養大学)

日本語の発音学習を支援する「日本語発音ラボ(JPラボ)」(jp-lab.com)を開発しました。「JPラボ」では、日本語学習者の自律学習を促し、教室ではわずかな時間を利用して音声指導ができるように、音声教材「5分キット」を提供しています。地域のボランティア教師の方にも使いやすい教材ですので、ぜひ体験していただき、音声指導の足掛かりにいただければと思います。

交流ひろば(2)

【11:35-13:05／3階303研修室, 304研修室】

④ 「大学」における日本語教員養成に求められること 【303研修室 前】

—中級クラスの教壇実習における実習生の学びから考える—

元木佳江(四国大学)

大学における日本語教員養成に求められることとは何でしょうか。教育実習で実習生が学ぶことは何でしょうか。ここでは、中級クラスで行った教壇実習を例に実習生の学びを共有しながら、大学で行う日本語教員養成についてみなさんと一緒に考えていきたいと思います。興味のある方はぜひお越しください。

⑤ 地域社会における「対等性」とは **【303研修室 後】**

—地域日本語教室における「ミニ運動会」の実践を通して—

八木はるか(公益財団法人ひろしま国際センター)・岡田信(同)

私たちは、ある地域日本語教室において、教室参加者の間にある「壁」をできるだけ低くし、同じ市民として対等な関係を作ることを目的に、「ミニ運動会」を実施しました。地域日本語教室・地域社会において、人々が対等な関係を築き、対話し、協働するための活動について、皆さまと意見交換ができれば幸いです。

⑥ ディスカッションを調整するためのストラテジー一覧作成の試み **【304研修室】**

濱田典子(秋田大学)・久保亜希(防衛大学校)

私達はTask Based Language Teachingの枠組みで、ディスカッションを調整、仲介する際に使用するストラテジーの指導を中心とした実践を目指しています。指導項目の決定にあたり、CEFRの仲介能力を支えるストラテジーとその具体的な言語表現の検討が必要だと考えています。この点について、模造紙を広げ、付箋を片手に、みなさんと意見交換をしながら、整理したいと考えています。

休憩 **【13:05-14:05】**

開催会場挨拶 **【14:05-14:10／3階306研修室】**

口頭発表 **【14:10-14:40／3階306研修室】**

※本発表は査読審査を経た学会発表です。発表要旨は本プログラム p.5～、詳細は予稿集原稿をご覧ください。

① 日本語学習者の聴き取りにおけるメモ行為の機能

—メモの取るタイミングを操作した実験的検討—

王コウエン(北海道大学教育学院)

パネルセッション **【14:50-16:40／3階306研修室】**

「広島県の地域日本語教育コーディネーター研修における学びと成長のプロセス

—呉市との協働実践から—

地域日本語教育の様々な課題を解決するための人材として、コーディネーターの必要性が指摘されています。このコーディネーターについては、その資質・能力等に関する研究が行われ、養成のための研修も実施されています。では、コーディネーター養成過程にある者は、研修を通してどのような学びを得て、どのような成長過程をたどっているのでしょうか。本パネルセッションでは、広島県における地域日本語教育コーディネーター研修を例に、研修を企画・立案した者、研修の一環として行われたフィールドワークの受け入れ先となった地域日本語教室、そして、研修を受けた者、それぞれの立場からの報告を踏まえ、地域日本語教育コーディネーター研修の在り方について、皆さんと議論して

いきたいと思います。

【趣旨説明・登壇者発表】 14:50-15:40

登壇者：三好千聖(ひろしま国際センター)

伊藤美智代(ひまわり21:呉市)

犬飼康弘(ひろしま国際センター)

ファンリテーター：中東靖恵(岡山大学)

【交流・ディスカッション】 15:50-16:40

閉会

【16:40-16:50/3階306研修室】

[2023年度第3回支部集会 ((公財)ひろしま国際センター, 2024.2.3) 口頭発表]

日本語学習者の聴き取りにおけるメモ行為の機能

—メモの取るタイミングを操作した実験的検討—

王コウエン

本研究は、上級日本語学習者を対象に、聴き取りにおけるメモ行為の機能を検討した。メモ行為の機能には符号化促進機能と外部記憶補助機能が含まれる。従来の研究では、後者は取ったメモを再度見る時のみに役立つと指摘されている。しかし、第二言語の聴き取りにおけるメモ行為は、聴き取れたことをただ書き留めるだけの行為ではなく、聴いた時点で理解できない音韻情報をそのままメモに書き写すことが考えられる。そこで、本研究はメモ行為の機能がどのように働きかけるかを調べるために、被験者をメモの取るタイミングによって、全体メモ群、前半メモ群、後半メモ群、メモなし群の4群に分けて実験を行った。その結果、音声呈示中において「外部記憶補助機能」も働きかけることが認められなかった。文章の難易度が低い聴き取りにおいては、メモ行為の「符号化促進機能」が文章内容の記憶を促進する方向で働いたことが示された。

(北海道大学教育学院)

以上